

目 次

I. 総括研究報告書

重症多形滲出性紅斑に関する調査研究 森田栄伸（島根大学）	-----	1
---------------------------------	-------	---

II. 分担研究報告書

1. アロプリノールによる薬疹と遺伝子多型の関連 森田栄伸（島根大学）	-----	6
2. 重症多形滲出性紅斑の遺伝的背景の研究 蒔田泰誠（理化学研究所）	-----	9
3. Stevens-Johnson 症候群および中毒性表皮壊死症の治療と予後の解析 相原道子（横浜市立大学）	-----	11
4. Stevens-Johnson 症候群(SJS)及び中毒性表皮壊死症(TEN)のステロイドパルス療法後の プレドニン換算投与量(mg/day)とステロイド大量療法との プレドニン換算投与量(mg/day)の実態、及び予後 黒沢美智子（順天堂大学）	-----	16
5. Stevens-Johnson 症候群及び中毒性表皮壊死症の眼合併症と治療 外園千恵（京都府立大学）	-----	21
6. 多剤感作とマイコプラズマ肺炎に着目した重症薬疹の危険因子の検討 青山裕美（川崎医科大学）	-----	24
7. 複数のバイオマーカーの組合せによる重症薬疹への進展の予測 椛島健治（京都大学）	-----	28
8. 重症薬疹の予後の解析 阿部理一郎（新潟大学）	-----	31
9. 重症薬疹におけるシクロスポリン療法の効果について 橋爪秀夫（市立島田市民病院）	-----	34
10. 薬剤アレルギー原因薬剤同定における 薬剤リンパ球刺激試験と好塩基球活性化試験の有用性の検討 高橋勇人（慶応大学）	-----	38
11. 薬剤性過敏症症候群における血清 TARC 値と臨床症状および検査所見との相関 浅田秀夫（奈良県立医科大学）	-----	40
12. 薬剤性過敏症症候群におけるステロイド治療がウイルスの再活性化に与える影響 佐山浩二（愛媛大学）	-----	44
13. 細胞増殖に関わる分子標的薬による皮膚障害の実態調査 末木博彦（昭和大学）	-----	46
14. 進行期悪性黒色腫における抗 PD-1 抗体による治療後 BRAF 阻害剤使用時に生じた薬疹における制御性 T 細胞分画の検討 -重症薬疹の発症抑制機序に関する考察を加えて- 大山 学（杏林大学）	-----	49

III. 関連する資料

1. 重症多形滲出性紅斑スティーヴンス・ジョンソン症候群・中毒性表皮壊死症	-----	53
---------------------------------------	-------	----

診療ガイドライン	
2. 診療ガイドライン 2016（簡易版）-----	107
3. 重症薬疹に対するステロイドパルス療法の有用性に関する多施設共同 臨床研究の倫理委員会提出書類-----	126
4. 班会議プログラム-----	138
5. 班会議議事録-----	146
IV. 研究成果の刊行物一覧表-----	152
V. 研究成果の刊行物（抜粋）-----	160